

スポーツバイクを体験 選手が楽しさ伝える

子どもたちを対象にしたスポーツバイク
体験教室が12月13日、富士宮市の大石寺
東山駐車場で開かれ、レバンテフジ静岡が
講師を務めた。



選手と走り笑顔の子どもたち

富士宮市が主催し、県内か
ら5人の小・中学生が参加。
二戸康寛監督と高梨万里王選

手、山口瑛志選手、下部育成
チームから来季加入する森風
翔選手がスポーツバイクの扱い
方や乗り方のコツを教えた。
子どもたちは広い駐車場での
びのびと走り、ギアチェンジ
やブレーキのかけ方を実践。
その後選手たちとローテーション
を組みながら先頭交代の練
習をするなど、実際のレース
に近い動きにも挑戦した。
高梨選手は、「スポーツバイ

クの乗り方、楽しみ方を伝え
られたのでは。終わってから、
もっと走りたい！と言ってくれ
てとてもいい教室になった」と



ヘルメットの着け方を教える高梨選手



初めて触るスポーツバイクに
興味津々！

振り返った。
県内での選手育成に力を入
れる二戸監督は、「この教室を
きっかけにスポーツバイクを始
める子が出てきてくれたらうれ
しい」と話した。



終盤のゴール勝負で振り絞る床井

雨天で真冬並みに
寒く、低体温症対策
をして臨んだ今レ
ス。床井にとってはラ
ストレースとなり、
チーム全員で床井の
優勝を目指した。
序盤では逃げ集団
に乗ることができな
かったレバンテだったが、高梨、
サルマ、夏目がメイン集団を牽
引して、逃げ集団との差が開
かないようにレースをコント
ロール。逃げとの差を1分程
度に維持し続けた。
床井はレース終盤まで順調
にメイン集団に残り続け、最後
のゴールスプリントで全力を振

り絞った。「皆が最後まで粘り
続けてくれたおかげで、後半ま
で足が残っていたという間
だった」。ゴール直前、キスコ
ネンとの連携は惜しくも計れな
かったが、共にゴールを決めた。
成長のきっかけに
床井は、「悔いはない。チ
ームで協力し今までできなかった
ことができたレースだった。最

チーム団結で床井11位に

JBCF群馬CSCロード10月大会

「プロツアー最終戦の群馬CSCロードが10月
25日開かれ、キスコネンが9位、今季で引退の床
井が11位となり、チーム戦で好成績を残した。」



献身的にメイン集団を牽引するサルマ、夏目

高のチームで燃え尽きた」と
ゴール直後には涙を見せてい
た。
二戸監督は、「引退は寂しい
が、床井のためにと全員が臨
んだレースでチームがいちばん
の団結力を見せ、自分たちで
レースを動かしていた」とチ
ームの成長を実感していた。

☆ RANKING ☆

JBCF群馬CSCロード10月大会

1位	岡 篤志 (Astemo宇都宮ブリッツェン)	3時間45分35秒
2位	山田 拓海 (シマノレーシング)	+0秒
3位	金子 宗平 (群馬グリフィンレーシングチーム)	+0秒
...		
9位	シーム・キスコネン	+8秒
11位	床井 亮太	+9秒
43位	高梨 万里王	+4分47秒
DNF	夏目 天斗、サルマ 寛大、渡瀬 義雄	

感謝伝え今季を締めくくり

シーズンエンド報告会

シーズンエンド報告会が11月14日に富士市交流プラザで開かれた。

冒頭の挨拶で二戸康寛代表は「シーズンを通じ充実してい



スポンサー、サポーター70人が参加し最大規模に

て4勝を上げた。Jプロツアーはチームランキングが21チーム中4位と好成績で締めくくることができた」と振り返った。

今季キャプテンを務めた高梨万里王選手は、「今年はチームで戦うことができ、サポーターの皆さんの熱い応援のおかげで好成績を残すことができた」と感謝の思いを伝えた。

選手たちによるトークセッション、プレゼント企画ではサイン入りユニフォームや夏目天斗選手愛用のぬいぐるみが当たるなど盛り上がった。

今季で引退する床井選手は



多くの労いの言葉を寄せられた床井選手

引退セレモニーで「選手人生でレバンテとの出会いは運命的。チームの中心で走る選手として二戸さんが誘ってくれた。チームの和気あいあいとした雰囲気や、温かい地域の皆さんに恵まれた」と笑顔を見せた。

上昇気流に乗るレバンテフジ静岡は来季UCIに復帰、国際大会での活躍も期待される。



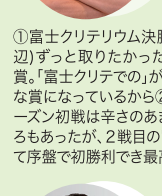
2025シーズン選手コメント

今季を振り返って、各選手に
①印象に残ったレース(開催日、開催地)とその理由
②一年間の感想を聞いた。



高梨 万里王

①チャレンジサイクルロードレース(4/6、伊豆市 日本サイクリススポーツセンター)チームワークがとても良く、床井さんが優勝してスタッフやファンの皆さんと喜びを分かち合えた②勝つためのチームプレーを意識して来年も走ってきたい



床井 亮太

①富士クリテリウム決勝(3/2、富士市役所周辺)ずっと取りたかった富士クリテの周回賞。「富士クリテでの」がチームにとっては特別な賞になっているから②病氣からの復帰でシーズン初戦は辛さのあまりメンタルにくるところもあったが、2戦目の富士クリテで持ち直して序盤で初勝利でき最高のシーズンだった!

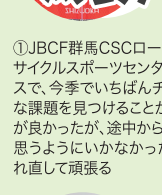


最高!



山口 瑛志

①おんたけヒルクライム(5/18、長野県木曽郡王滝村)サルマ君とワンツフィニッシュできて表彰台に乗れたのが嬉しかった②怪我で思うようにいかないシーズンだったが、チームの成長を感じた一年。来年は貢献できるよう頑張りたい



夏目 天斗

①JBCF群馬CSCロードレース(10/26、群馬サイクリススポーツセンター)大先輩の引退レースで、今季でいちばんチームがまとまり、明確な課題を見つけることができた②春先は調子が良かったが、途中から調子を落としてしまい思うようにいかなかった。来年は気合いを入れ直して頑張る

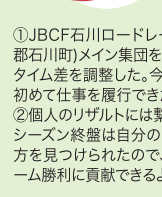


気合!



サルマ 寛大

①全日本選手権大会(6/22、伊豆市 日本サイクリススポーツセンター)仕上がっていて自信があったが上位の選手たちに敵わず、取り組みの甘さを痛感。来年はもっといい準備をして挑もうと大きなモチベーションをもらった②一年間競技に没頭でき楽しかった。いつも応援に感謝。来年はより良い選手になって帰ってくる



渡瀬 義雄

①JBCF石川ロードレース(6/8、福島県石川郡石川町)メイン集団を牽引して逃げ集団とのタイム差を調整した。今季からチーム加入し、初めて仕事を履行できたと思えた瞬間だった②個人のリザルトには繋がらず悔いが残った。シーズン終盤は自分のコンディションの上げ方を見つけたので、来季は前半戦からチーム勝利に貢献できるよう頑張る

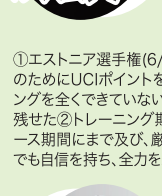


貢献!



シム・キスコネン

①KINAN AACACUP(5/3、岐阜県 長良川サービスセンター)非常に良いパフォーマンスを発揮し優勝できた。レース終盤で2分間500W以上を維持することができた②欧州以外で初めて迎えた今季。日本のレースでコーナリング技術が向上した。JPT表彰台は叶わなかったが、ベストは尽くせた。ファンの応援が熱くチーム加入を決定して良かった



エヴァー・サウル

①エストニア選手権(6/27、エストニア)チームのためにUCIポイントを獲得できた。トレーニングを全くできていない直後だったが、結果を残せた②トレーニング期間中の健康問題がレース期間にまで及び、厳しい一年だった。それでも自信を持ち、全力を尽くせた

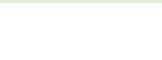


全力!



井出 晃太郎

①全日本学生選手権 男子スプリント(7/5-6、スカイロードサイクリングスタジアム松本)決勝で高校時代からのライバルと対戦。絶対負けられない気持ちで、勝負を決める場面で自分から動いて勝てた②大学生ラストイヤーで気持ちが入っていた。団体では個人・団体ともに優勝することができ、静岡県代表としての責務を果たせた



勝負!

地域の皆さんとの交流やスポンサー様との活動について紹介します。

チイキ×レバンテ

Eバイクで富士山五合目まで電動アシストの軽快さを体験

レバンテは富士市サイクルステーションのEバイクで海拔ゼロ地点から富士山五合目までを登る「ゼロ富士」を10月12日、初開催した。Eバイクは電動アシスト付きのスポーツバイクで、山道などの坂も楽に走行可能。その快適さを体感してもらおうと企画した。チームのスポンサーら9人が参加して約50キロの登坂路を走り、全員が五合目まで到達できた。



チームを支える

人ひとたち

【その2】

マッサー

のむら ともみ

野村 智美さん



「マッサー」とは

選手が疲労を残さないようマッサージしたり、レース中の補給食・飲料ボトルの準備、現地までの車の運転も行うチームを支えるトレーナー兼マネージャー。

鍼灸・あん摩マッサージ指圧師の資格を持つ野村さん。以前にはアロマの講師や音楽バンドのマネージャーをしていた経験も。鍼灸の学校で勉強中、レバンテのマッサーとして関わり始める。「選手からケガの相談や日常の報告を受ける」と一員になれたようでうれしい」とはにかんだ。

『私たちはレバンテフジ静岡を応援しています』

※他 スポンサー様30社以上



・レバンテフジ静岡は、法人、個人を問わず、チームの成長と活動を応援いただけるスポンサー様を広く募集しております。
・キッズ自転車教室やサイクルロードレースに関するトークショーなどのイベント、セミナー、公演、メディア出演などのご依頼を常時受け付けております。